

2023年1月20日

課題名： 低血糖患者におけるけいれんの発症割合

◆研究の目的と概要◆

救急外来を受診する低血糖患者において、全身けいれんを呈して受診するケースは少なく、その頻度や臨床的特徴はいまだに明らかになっていない部分が多くあります。本研究を通して、救急外来における低血糖によるけいれん患者の頻度や臨床的特徴を知り、救急外来での対応をより改善することができると考えております。

◆対象となる患者さん◆

2017年1月から、2022年12月までの間に救急外来を受診し、低血糖であると診断された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、救急搬送の有無、来院時の vital signs、初回測定時の血糖値、症状、糖尿病の有無、インスリン使用の有無、併存疾患 co-morbidities、使用薬剤、低血糖症状の転帰、入院の有無、入院中死亡の有無

◆研究方法◆

本研究は過去の受診カルテからの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

救急科 研究責任者 漆谷 成悟

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明